

第30回なかはら福祉健康まつり 概要資料

第30回なかはら福祉健康まつりについて、この資料を当日参加される所属団体の皆さんでお読みいただき、別添申込書を事務局までお送りください！



中原区社協PR大使
「パルるん」

開催日は11月15日（日）10時～14時に決まりました！
昨年同様、区役所屋外スペースをメイン会場とし、室内会場は区役所別館1階を会場として開催します。
※出店スペースに限りがあるため、参加希望団体の数によっては抽選により参加団体を決定させていただく場合や場所、スペースを調整させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

第30回なかはら福祉健康まつりの考え方

- ①参加団体・地域の連携強化を目指す
 - ②地域の皆さんに福祉・健康のことを正しく知ってもらう
- この二つを目標にかかげ
「参加団体が同じ目標を持って
一緒につくりあげる福祉健康まつり」
を目指します！



なかはら福祉健康まつりを一緒につくりあげていく一員としての意識を持って、参加してください！

具体的には・・・

- ① 各団体より、全体説明会への参加をお願いします。
- ② 会場運営へのご協力をお願いします。
※特に屋内会場の原状復帰にご協力を！
- ③ 役割分担について参加団体で話し合ってください。
- ④ 地域への福祉健康まつりの宣伝をお願いします。



団体同士の連携は
顔を合わせ、話し合い、同じ目的をもって一緒に取り組む！
ことから生まれます。

必ず会議には参加し、積極的に意見を出し、運営に協力してください。

◇なかはら福祉健康まつり実行委員会 事務局
中原区社協 担当：佐藤・田中 TEL 722-5500
FAX 711-1260
中原区役所 担当：木村 TEL 744-3239
FAX 744-3196



質問・提案などが
ありましたら
気軽にご相談ください！

今までも広報（PR）の不足は意見としてあげられますが、事務局でできることは「市政だより」「社協なかはら」「区社協ホームページ」への記事の掲載、町会回覧・掲示板の利用までです。

各団体が持つ独自の広報手段や、人脈をフルに活用した広報活動をお願いします。
「**ウチの団体のコーナーには人が来なかった。**」と嘆く前に、
まずは家族・隣近所・友達に声かけをしてみましょう。
きっと結果が違ってくるはずです。



第30回福祉健康まつりがめざすもの

福祉健康まつりは来場者に「福祉とはなにか」「健康とはなにか」を正しく知ってもらうことを目指します。より、理解を深めてもらうにはどうすればいいか・・・

来場者の立場に立って考えてみる！

自分の団体が今回の福祉健康まつりで行う予定の展示・発表・模擬店・体験コーナーは、福祉・健康を知ってもらうことに役立つだろうか？
また、さらに理解してもらうためにはどんな工夫が必要だろうか？
少し意識するだけで結果が違ってくると思います。

- ① 足を止めてもらえる内容か？
- ② 活動の中に福祉・健康を知るキーワードがあるか？（販売だけは×）
- ③ 誰にでもわかりやすい内容か？
- ④ 展示だけではなく体験を！

一方的に情報や考え方、自分達の都合を押し付けるのではなく、福祉や健康について、なにも知らない来場者にわかりやすく伝えるにはどうすればいいかを意識して参加してください！

第30回福祉健康まつりで求められる要素



◇体験できる・・・にもう一工夫！

◎ 体験コーナーに一工夫。

例えば作品作りのような一見カルチャー教室のように思える活動が認知症の予防につながっていたり、ペースト、パテ状の食品が嚥下の難しい方の食事に役立っていることを知ってもらうにはどうすればいいか？
ただやるだけ、食べるだけでは「楽しい」「美味しい」で終わってしまいます。体験者に**説明をしたり**、体験と福祉・健康のつながりを（小学生でもわかるように！）説明した**プリントを配る**等の一工夫をしたりしてみてもいいでしょうか。

◇知ることができる・・・にもう一工夫！

◎よりわかりやすい広報・情報提供をめざしましょう！

【例】

- ・ 見やすく、わかりやすく、魅力のあるチラシやパネルで知ることができる
- ・ ゲームや体験を通して知ることができる
- ・ 中原区の福祉・健康情報（チラシや機関紙）を一カ所で入手できる
- ・ 講師による講演等がよくわかる

◇人をあつめる・・・にもう一工夫！

◎福祉・健康をPRすることが最大の目標ですが、
堅苦しい内容ばかりでは人はあつまりません。
来場者あつめの福祉健康まつりです。



福祉・健康への理解を深めてもらうためにも
「**楽しみながら自然にわかる**」
のが一番ですよね。楽しい福祉健康まつりにするために！

- ・ にぎやかで楽しいイベントの実施
- ・ お祭りや夜店にあるようなゲームの出店
- ・ 芸術性、内容の評価が高く、広報すれば人が来ること間違いなしのイベント
- ・ 目玉商品のバザー、委託販売、美味しそうな匂いの食品販売で集客力アップ！（くどいようですが販売だけは×です）

◇一番大事なこと！「団体同士の連携を深めるために」

◎他団体と積極的に関わり、話し、情報交換をしましょう。

他団体のブースを見て回ると、新たなつながり・発見があるかもしれません。
「**福祉健康体験ウォークラリー**」に挑戦するのも一つの手です！



◎まつり終了後、参加団体の交流を深めることを目的とした交流会（各団体より1名程度参加）を予定しています。ぜひご参加ください♪

◎新規団体などに「なかはら福祉健康まつり」への参加のお誘いをしていただけると幸いです。
なお、新規参加希望団体については、活動内容などをなかはら福祉健康まつり実行委員会で確認させていただいたうえでご参加いただきます。